

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金

オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ブリティッシュ・コロンビア大学オンライン
所 属	国際日本学部国際日本学科 2年
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)	
<p>私は、今回ブリティッシュ・コロンビア大学オンラインプログラムに参加し、様々なことを学びました。異文化コミュニケーション、世界の食文化といったテーマを基に、日本の文化と他国の文化を比較、分析しながら、世界を観る視野を広げることができました。特に、カナダの文化への理解を深めることができました。これらの学びは、今後私が留学をする際に、異文化を受け入れる姿勢にかなり影響するのではないかと考えます。また、英語の文法や発音に関する理論的なことについても学び、改めて英語学習の基礎を固めることができました。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)	
<p>とりあえず英語をたくさん使いたいと思ったため、授業内でクラスメートと自由に意見を交換することができる「コーヒーアワー」や、授業以外アクティビティとして UBC のカルチャーアシスタントの学生達が主管する「ソシオ・カルチャープログラム」に積極的に参加しました。ソシオ・カルチャープログラムの中で、CA マッチングという 1 対 1 の会話は、実際英語使用量が特に多く、リスニングとスピーキング練習に非常に役に立ったと感じました。また、ソシオ・カルチャープログラムの中には、バンクーバーツアーや文化交流など、新しい文化に触れる機会も多かったため、それらに参加しながら現地の学生たちから多くの情報を得ることができました。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250～300 字程度)	
<p>まず、メリットは、画面共有機能を利用して多様な資料を授業に活用できることと、ブレイクアウトルーム機能を活用して簡単にグループワークを進めることができることにあると思います。インターネットの接続が不安定であった日もあり、その日は何度も入り直したりしていましたが、パソコン操作に慣れていれば特に大きな問題はないと思います。何よりもコミュニケーションの取りにくさにオンラインならではのデメリットがあったと思います。先生たちは本当にカジュアルな授業方式を使って、学生たちが発言しやすい雰囲気を作ってくれましたが、どうしても音声を重ねるなどの理由で対面でのようなナチュラルなコミュニケーションは取りにくかったと思います。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)	
<p>今回の語学研修の目標は、英語を話したり聞いたりする時、他の言語（主に日本語や韓国語）を通さずに考えられるようになることと、カナダの文化を学びながら多様な文化に対する視野を広げることでした。プログラム参加前には、英語で話す時不明な単語や表現を翻訳して考える自分があり、この点を改善したいと思ったからです。プログラム期間中、間毎日英語を使っていたため英語で考える習慣がついたのか、プログラム終了後には頭の中で考える時間が短縮されたと感じます。また、カナダ文化だけでなく、異文化に対する多様な資料とクラスメートたちとの意見共有を通じて、世界文化の価値に対して新たな考え方をすることができるようになりました。</p>	